

世界が原油相場の沈静化に向けて動き始めた。中国などが石油製品の価格を引き上げ、産油国と消費国との緊急関係会合ではサウジアラビアが増産を打ち出し

高騰原油相場をよむ

た。米国の景気後退や新興国の経済成長……。市場を取り巻く環境はかつてない複雑なパズルの様相を呈している。高騰する原油相場

投機規制、効果は疑問

住友商事・金融事業本部長

高井 裕之氏



たかい・ひろゆき 80年(昭55年)住友商事入社。貴金属部、ロンドン駐在、コモディティビジネス部を経て08年4月から現職。東京工業品取引所理事を兼任。50歳。

新興国の人口増が根底に

をどうよむか。専門家に見通しを聞いた。
——高騰する原油相場の現状をどうみるか。

「先物市場の投機マネーが悪玉にされているが、価格の上昇は何も先物の原油や穀物に限ったことではない。レアメタル(希少金属)をどうよむか。専門家に見通しを聞いた。
——高騰する原油相場の現状をどうみるか。
「先物市場の投機マネーが悪玉にされているが、価格の上昇は何も先物の原油や穀物に限ったことではない。レアメタル(希少金属)をどうよむか。専門家に見通しを聞いた。
——高騰する原油相場の現状をどうみるか。」

「現在の一㍊一三〇㍊台の原油相場ではガソリンの消費が落ち、燃料高が穀物高を招いて食生活をおびや

など先物が未発達な資源も上がっており、新興国の人口増による世界的な需要増が根底にある」

半分がガソリン高で吹き飛んだ。「強いドル」を強調し始めたのもドル安と逆相関の原油高を抑えたい思いからだ」